

編集後記

皆様方のご協力を賜り、ここに「環境制御」第28号を発刊できました。昨今、地球環境や廃棄物などの環境問題の解決には対策技術の開発と社会・生活スタイルの変革の両面での取り組みが不可欠だとの認識が広まってきています。「環境制御」において、この両面での研究・教育の成果を集約し、外部に発信することが出来れば良いと考えます。他方、環境配慮促進法施行に対応して、記念すべき最初の「環境報告書」が昨年9月に公表されました。本報告書は「環境配慮促進法WG」を中心に作成が進められ、その過程において、岡山大学の環境方針の策定、環境目的・目標の計画など、本学の環境マネジメントの大枠が決められ、その土台が固まりつつあるといえます。

「環境制御」と「環境報告書」をこのように並べて見ますと、両者は車の両輪であると云えます。環境研究・教育活動の成果の発信と環境マネジメントの具体化の両輪を結合し活用するためには、両輪を支える車軸が不可欠です。本学の皆様のご協力とご参加のもとに、この車軸の役割を保健環境センター環境安全部門が担えれば光栄です。

保健環境センター 環境安全部門 山本 晋